

(別紙様式2)

学校名

盛岡中央高等学校

岩手県盛岡市みたけ4-26-1

TEL 019-641-0458

## I 学校の概要

1 児童生徒数 1018名

学級数 36学級

教職員数 常勤64名

非常勤37名

(平成23年3月1日現在)

## 2 地域の概要

盛岡市郊外の閑静な住宅地に隣接、付近に大きな河川は無いが、測定可能な河川が学校より西300m付近にある。

## 3 環境教育の全体計画等

ISO14001を導入し、環境教育を重視している。

## II 研究主題

水質調査を中心とする。

## III 研究の概要

### 1 研究のねらい

定期観測を実施することにより、参加生徒の科学的関心を高める。全校に還元することにより、学校全体でその姿勢・実態等を共有する。

### 2 校内の研究推進体制

#### (1) 研究推進体制

科学部と生徒会がタイアップして共同で観測を実施する。

#### (2) 観測体制

週1回程度4名でローテーションを組み、上記河川に出向いて計測し、データをグローブ事務局に転送する。また、校内でもデータを蓄積し、研究や発表に活用する。

### (3) 観測機器などの設置状況

水温計、採水バケツ、透視度計、pHメーター、DO測定キット等を購入した。

## 3 研究内容

### (1) グローブの教育課程への位置付け

放課後、上記科学部・生徒会役員により実施。

### (2) グローブを活用した教育実践

定期的に前述河川の水温・濁度・pH・Doを測定し、データを分析して表やグラフにまとめ、掲示して全校生徒に状況を提示した。全校でデータを共有することにより全校で環境教育を推進する一助とした。それにより、生徒の環境に対する関心がさらに高まってきた。また、科学に対する関心も高まってきた。

## IV 研究の成果と課題

定期的に観測を続けることにより、生徒の観測とデータ分析に対する意識が向上した。また、科学に対する関心も高まり、自然環境に向ける関心も高まった。しかし、さらに詳しく分析するためには高額な機器が必要など現状では限界もあるが、一定の成果を得ることができた。

## V 今後の展望

今後も継続的・定期的に観測を続け、データを蓄積してそれを活用していきたい。引き続き、文化祭や校内掲示あるいは外部団体の発表会などを活用して校内や外部に向けて発信を続け、自分たちの身の回りの環境にさらに目を向け、身の回りの自然環境を自分たちの手で保全できるようになるよう指導を続けていきたい。

活動の様子

